

令和5年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（12） 学校名 豊田市立矢並小学校

1 テーマ

郷土を愛し、郷土に貢献する児童の育成
－矢並・恩真寺湿地学習と保全活動、地域を見直すクラブ活動－

2 ねらい

児童が総合的な学習の時間や生活科で、矢並湿地について調べたり、郷土の偉人鈴木正三について学んだりする中で、郷土を愛する気持ちを育む。また、地域の方と一緒に取り組む矢並湿地保全活動を通じて、学校・保護者・地域が協力して、郷土を愛し、郷土に貢献する矢並っ子の育成を目指す。

クラブ活動時に、地域に伝わる郷土芸能や伝統文化などを、地域ボランティアから学ぶことにより、矢並地区を見直す機会とし、守っていこうとする心を育てる。

3 活動内容

- ① 3～6年の総合的な学習の時間に、矢並湿地や鈴木正三について総合単元的なカリキュラムを組み、行う。
- ② 1・2年の生活科で、町探検の一環として矢並湿地を観察し、地域の宝を知る。
- ③ 自然観察の森レンジャーを講師とし、湿地についての学習を深め、学んだことを湿地一般公開日などで、保護者や地域の人に伝える。
- ④ 矢並湿地保存会の方や保護者とともに、湿地の保全活動を全校で行う。
- ⑤ クラブ活動時に、地域ボランティアを講師とし、郷土芸能や伝統文化などについての学びを深める。
- ⑥ 学校ホームページに活動内容を紹介し、保護者や地域に発信する。

4 成果と課題

コロナが5類になったため、矢並湿地に何度も行くことができ、矢並湿地独自の生き物に触れ、知識を深めることができた。また、レンジャーの方の協力により、湿地を守ることの大切さにも気付くことができた。豊田市の湿地一般公開日には、子どもナビとして参加し、保護者や地域の方、県外の方からも「毎年これを楽しみに来ている」「自分たち大人も守らないといけない」など声を多数いただいた。

・クラブ活動を8回行った。郷土芸能である棒の手や、伝統文化のお茶、矢並地区に生息する鳥の観察等、様々な分野での守るべきものを知ることができた。また、棒の手は、地域のお祭りにも参加し、地域の方からも「子どもたちが引き継いで

「いらっしゃるうれしい」との言葉をいただいた。

課題

- ・クラブ活動ボランティアが、だんだん高齢化してきている。今年度も途中でやめられた方もみえた。逆に、若い方が一人手伝いならと参加してくださった。世代交代の新たな人材の発掘が必要である。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ホームページをクラブ活動時や湿地学習日に更新（計13回）し、取り組みを紹介した。
- ・学校だよりや学年だよりで、矢並湿地での学年の取組を、全学年湿地学習日ごとに紹介をした。
- ・授業参観や矢並湿地一般公開日に、5・6年生が、保護者や地域の方、県外からみえた方などを対象にガイドを行った。